

鳥取県高校野球 OB 連盟 申し合わせ事項

1. ユニフォーム

選手が1人でも多く特別規則通りの服装となるよう努力する（ただし、パンツは、ストッキングが見えないもの、裾がスパイクにかかるもののいずれも使用を禁止する）。また、いかなる場合であっても、無帽、背番号無し、ジャージ着用など、ユニフォーム不着用者は試合中グラウンドに出ることができない。

登録された選手でなければ、ベンチ入りはできない（ただし、選手のうち5名以内に限り、ユニフォーム不着用でもベンチ入りを認める）。

背番号はアラビア数字に限る。遠くからでも番号が判別でき安全が確保できれば、手製、安全ピン留め（4箇所以上を留めること）でも可とする。

2. 保険

スポーツ傷害保険については、各チームでの対応とする。観客や会場周辺の物品など大会関係者以外が対象となる保険には連盟で加入するが、あらゆる事態に対応できるとは限らないため、選手の関係者など来場する方に対しては、各チームから安全に配慮するよう事前に十分忠告すること。

3. 応援

各チームで責任を持つ。会場の許可があればベンチ外の観客席から、ラジカセなどを用いて応援の音楽、音声などを演奏しても構わない。ただし、自チームの攻撃中に限る。

4. 審判員

3人制。うち2名は高等学校野球連盟審判部に依頼する。三塁塁審は役員より1名。三塁塁審以外にも試合役員を割り当てなければならない事態が発生した場合は従うこと。場合によっては4人制や、一部をボランティアに依頼することもある。

5. 試合役員

当日試合がないチームにも割り当てる。

6. 予備日までに日程未消化の場合

理事により協議を行ない、延期を含む日程または上位進出チーム選出方法を決定する。

7. 試合前練習

試合前のシート・ノックは実施しない。試合前の時間は次試合のチームの練習（キャッチボール、ペッパー、外野ノック程度）に充てる。その際、芝生部分での練習では、スパイクの着用を禁止する。

8. 投球練習

当該投手がその試合で初めて行なうときは5球以内、それ以外のときは2球以内とする。

22 申し合わせ

出場している捕手が用具の装着などの理由で守備位置につくのが遅れる場合、代わりの選手が投球練習を受けること。規定の球数を終えても出場している捕手が守備位置についていない場合で、内野手がボール回しを必要とする場合は、最終球を受けた代わりの選手は、すぐに他の内野手に送球し、ボール回しを行なうこと。出場している捕手が守備位置につくのが遅れていても、規定の球数を超えて投球練習したり、守備位置についてから最終球を受けたりするのは避けること。

9. 雷への対応

雷鳴、または雷光を認識した場合、その音量、会場からの距離などとは一切関係なく、即時に試合を中断し、選手並びに関係者全員が、建物か自動車内に避難しなければならない。また、試合役員は観客などに対しても放送で避難を呼びかけなければならない。最後に雷鳴、または雷光を認識した後、20分を経過しなければ、試合を再開してはならない。

10. 喫煙

会場並びに会場周辺で喫煙するときは、指定の場所で、ユニフォーム上着を脱いで行うこと。

11. 駐車場

別途通知する駐車場周辺図の記載に従うこと。各チーム1日当たり自動車20台未満で乗り合わせて来場すること。

12. ファウルグラウンドでの座り込みなどの禁止

ベンチ内にいない選手は、地面に座ったり、しゃがんだりしてはならない。

13. 試合中のキャッチボール

攻撃当初のプレイ宣告から、第3アウト成立までの間、ブルペンを含むファウルグラウンドでキャッチボールができるのは、2組以内、かつ計4名以内とし、試合進行の妨げにならないよう注意しなければならない。